



# 高西小だより

H25, 5, 31(金) 校長: 古屋 NO2

学校教育目標  
夢を切り拓く  
心豊かで  
たくましい子ども

今年の春は、寒暖の差が大きく安定した春らしい爽やかな天気がありませんでした。先日は、校庭が乾燥し砂埃が立ち上がっていましたので、6年生の陸上記録会の練習時にスプリンクラーで水をまいたほどです。でも、気が付けばもう梅雨です。いつもなら鬱陶しい梅雨空に感じますが、今年は、何かしら湿り気が心地よく感じます。これから1か月余り雨模様が続きますが、梅雨の時期の降水量は、年間の降水量の3分の1にあたるそうです。農作物や動植物にとっては大事な雨でもありますね。

さて、年度がスタートして2か月が経過しましたが、玄関前で元氣よくあいさつをする姿、集中して学習する光景に学校生活に向けた意欲を感じとても嬉しく思います。これも保護者の皆様のご支援と見守りのお陰と深く感謝申し上げます。これからも様々な教育活動が展開されていきますが、温かいご支援の程をよろしくお願い致します。

## 高根西小修学旅行団初の東京スカイツリー！

5月14～16日の二泊三日で6年生33名が、「よく学び、協力し、心を一つにし、みんなで楽しむ修学旅行にしよう！」のテーマのもと、小学校生活最大イベントである修学旅行に行ってきました。天候は、3日間とも晴天で、時より涼しい風が吹く絶好の修学旅行日和でした。

1日目は、バスレクの進行が大変上手だったせいか、あっという間に江ノ島に着きました。江ノ島で早い昼食を済ませた後、鎌倉の大仏を起点に班ごと鎌倉散策をしました。今年は、例年になく外国の人が多くてびっくりしました。大仏、小町通り、鶴岡八幡宮などどこに行ってもすれちがうのは外国の人という感がありました。これも円安の影響でしょうか。

2日目は、八景島シーパラダイスと日産自動車横浜工場、東京スカイツリーに行きました。八景島は以外と修学旅行団が少なく、ゆったりと水族館、イルカのショー、乗り物、買い物、バイキング（昼食）を楽しむことができました。この日最終の見学地は、お目当ての東京スカイツリーで、高根西小修学旅行団の歴史的な第一歩でした。エレベーターでは、さほど待つこともなく順調に地上から350mの高さにある第1展望台まで約50秒間で上がりました。分速600mで上がるそうですが、子どもたちの顔には、緊張したドキドキ感が表れていました。展望台は、大変な混みようで、ゆっくりと360度のパノラマを楽しむことはできなかったようですが、見るものすべてが初めてということで、どの子の目も輝いていました。

最終の3日目は、科学技術館、国会議事堂、浅草寺を見学しました。国会議事堂の見学では、私も初めての体験ですが、これまで見学者の多くは児童生徒でした。しかし、今回の見学者の中には、外国の方の団体や高齢者の団体が何組もあり、これまでの様相と違っていました。これも、現在の社会や経済情勢を反映しているように思いました。

この3日間、子どもたちの行動や態度はとても立派でした。バスレクの司会進行、集合の仕方、あいさつ、ホテルの中での過ごし方等は、まさしく「よく学び、協力し、心を一つにし、みんなで楽しむ修学旅行にしよう！」のテーマにふさわしいものでした。これも事前から、保護者の皆様のご配慮のおかげと深く感謝致します。さあ、次は陸上記録会、運動会へと続きます。どんな活躍をしてくれるかとても楽しみです。

## 「ホテル機山館」は、「武田信玄」と深いつながりがありました！

2日目に泊まった「ホテル機山館」は、山梨県と深い縁があり、ホテルのロビーには次のことが表示されていました。

武田信玄は、元服して晴信と名乗り、京都から招請された学徳兼備の高僧岐秀禅師から「信玄」を、晩年快川国師から「武田機山」の法号を授かりました。つまり「機山」とは武田信玄の法号です。「ホテル機山館」は、武田信玄の子、仁科五郎（武田勝頼の弟）の流れをくむ仁科将氏が小淵沢町から上京し、初代社長として昭和12年に現在の地に「ホテル機山館」を開業しました。

ちなみに1日目に泊まった「スターホテル」の前には、人の行列ができていました。何かと聞いてみましたら、1階レストランのパンケーキがお目当てとか。そのパンケーキは、とても有名のようでした。また、隣にあった「ホテルニュージャパン」は、皇族、イギリス王族などの賓客やチャーリー・チャップリン、ダグラス・マッカーサーなど歴史的著名人が滞在したそうです。また、厨房からは、ドリア、ナポリタン、プリンアラモードなど後に広く知られる料理が初めて作られ、日本の食文化に多大な影響を与えたようです。

鎌倉だけでなく、今回子どもたちが泊まったホテルもまた歴史を学ぶよい機会となりました。



大仏はでかいなあ！



これもいいな。



江ノ電に乗りました。



耳がキーンとしてきた。



うあ～高い！



このオレンジの皮を見よ！



うまい！完食だよ。



浅草寺・仲見世通りはすごい人でした。



お礼のあいさつも立派でした。

## 「能」を初体験！ 興味のある子はもっとやってみませんか？

30日、日本の伝統文化に親しむ機会として、観世流シテ方能楽師の佐久間二郎先生をお招きして、「能」について4～6年生が学びました。佐久間先生は、甲府市出身で、3歳で能面に興味を持ち、小学校3年生の時にはもうすでに能楽師を志したそうです。当時は、小学生で能の本をよく読んでいたので、「変わった子だな」と思われていたと笑いながらおっしゃっていました。平成19年度には、NHK大河ドラマ「風林火山」に織田信長役として能を舞う場面出演するなど大活躍をされています。

今回、国民文化祭やまなしの事業として10月20日、高根やまびこホールで行われる「甲斐の国こども能」への出演者募集にあたり、高根西小にその依頼がありました。その一環として、まず、子どもたちに「能」を知ってもらい興味関心を高めることを目的に行いました。しぐさ、動き方、言葉の意味や発し方、本物の能場面（DVD）などについて学びましたが、何と言っても、本物の能面、特に般若の面を代表の子が付けた時は大きな歓声（表情の迫力と怖さのため）が上がりました。4年生以上から10名ほど募集します。お子さんから相談がありましたら是非相談にのって下さい。



能は650年も前から続いています。



般若の迫力ある能面に大歓声！



すり足の仕方を体験しました。